

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念と、各ユニットごとの理念を掲げている。	○ 一人ひとりに合った介護を目指し、その人らしい生活が送れるように努力していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニットの理念を提示しており、その実現のために日々努力している。	○ 今後も理念実現のため努力していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	訪問者に分かりやすいように理念を提示しており、地域には運営推進会議で伝え、理解を求めている。	○ 今後も日々の活動の中で、理念に向けた取り組みを行っていることを、ご家族や地域の人々に理解していただけるように努力していきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出たとき等に、挨拶をするよう心がけている。ホームへの出入りを気軽にしてもらえるようになっていないが、買い物に出たときに声をかけてくれたりする。	○ 近所に店舗が多いので、気軽に挨拶、ちょっとした会話ができるようになるよう努めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りに出かけたり、近くの公園で交流できている。	○ 今後ももう少し地域との交流を図りながら、気軽に来ていただけるように、積極的な交流を図るよう努力していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域との交流の中で考慮している。	○	近所に店舗が多いので、気軽に挨拶、ちょっとした会話ができるようになるよう努めていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価での結果をいつでも見れるようにしており、サービスの向上に努めている。	○	スタッフでミーティングを行い、スタッフ一人ひとりが日々のケアを見直したり、よりケアの向上に向けた努力を行っている。アドバイスしていただいた部分があれば改善していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動の報告、生活の様子などを見てもらったりして、今後のサービスに活かしていく予定である。	○	今後も開催し、話し合いの中で様々な意見をいただき、サービスの質の向上に努めていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	中学・高校生の実習を受け入れたりしている。何かあれば、市町と連携を取っている。	○	福祉施策を知り、サービスの質の向上に努めていきたい。また、必要に応じ、連携を取っていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要性がある方については市町との連携を図り、支援していきたいと考えている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で話し合う機会を設け、虐待の防止に努めている。	○	今後も定期的にミーティングを行い、虐待について正しく学ぶ機会を設け、スタッフ全員で虐待の防止に努力していきたい。研修にも積極的に参加していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所手続きの際、十分な説明をし、理解していただけるよう努めている。	○	今後とも継続していきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で生じた不満等を、気軽に職員に伝えることができる関係が築けている。苦情書ファイルを作成し、会議で話し合い、改善に努めている。	○	スタッフ全員が申し送りのノートに記載し、全員がチェックし、サインするようにして内容を共有している。カンファレンスで話し合い、改善の方向に努めている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会で状態説明をしたり、毎月1回のホーム便りにおいて異動者の紹介などを行っている。	○	これからの日々の報告を、面会時、電話連絡等を行っていくようにし、「やすらぎ通信」で行事等の様子などを伝えていくようにする。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ユニット入り口に苦情所を置き、対応している。面会時に家族と話をする時間を作り、何か要望等ないかお聞きしている。	○	遠慮なく意見や苦情を言っていただけるような関係作りに、今後も努めていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝・夕の申し送り、毎月の会議において意見を聞き、運営に反映させるよう努めている。	○	スタッフとの話し合いを行っており、有意義なミーティングができている。そこでの意見や提案を、もっと日々の業務の中に反映し、良くしていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況に応じた勤務体制、行事等に応じた勤務体制の調整に努めている。	○	今後とも、状況の変化や要望等に柔軟に対応できるよう、日々、調節、検討を行っていきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は必要最小限にしている。離職までに至らないように、話し合う機会を設けたりしている。	○	今後も職員が働きやすい環境を整えたり、人材の育成に努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	いろいろな研修の機会を提示(チラシ)し、参加の呼びかけを行っている。	○	今後も継続していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修時に交流する程度である。相互訪問もあったが、後に続かない。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の希望や不満を、個別に話す機会を作ってくれている。	○	忘年会、歓迎会等、コミュニケーションの場を設けており、ストレスを軽減するよう努めている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の向上心、仕事に対する努力は把握しており、それぞれの個性や良い所を認め、伸ばしていけるよう声かけをしている。	○	スタッフ全員が向上心を持って働ける環境作りに努めていきたい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に時間をかけ聞くようにしている。	○	今後も継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事例の面談、契約時にご家族の希望や思いや話をよく聴くようにしている。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時、聞き取りを慎重に行い、できるだけ希望に応えるようにしている。求められているサービスが何であるのかを考えながら、対応するように心がけている。	○	管理者不在時でも他のスタッフが相談を受け、必要なサービスが見極められるようにしていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に見学してもらい、雰囲気を見てもらい、同時に十分に話を聞くようにしている。	○	今後も継続していきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に何かをすることで、笑いや喜びを共有している。	○	スタッフは一緒に生活している中で、自立支援に向けてケアを行う意識を常に持ち、一緒に過ごす中で支え合ったり、学んだりする関係作りを今後も行っていきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の生活の様子を面会時に伝え、現状を知ってもらっている。	○	行事にも参加していただけるように声かけし、交流を深め、気軽に相談や話ができ、今後も一緒に利用者を支え合っていく姿勢を取っていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の思いや希望があれば、ご家族に伝えるようにし、ご家族の思いや希望を本人に伝える等、職員がクッションになり、良い関係が築けていけるよう努力している。	○	今後も継続していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔、近所だった方や友人が訪ねてくれることがある。	○	今後も継続していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入り、利用者同士が話をしたり、関わり合いが持てるよう心がけている。	○	今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	系列の施設への移動時は、様子を見に行っている。また、入院した際は、お見舞いに行ったりしている。	○	サービス終了後も、ホーム側から会いに行くなどの関係の継続を検討していきたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会議を行い、検討したり、本人から聞き取りしている。	○	今後も、本人の思いやその人らしい暮らしのための環境作りを継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族面会時に情報収集したり、本人の入居後の様子から把握するようにしている。	○	今後も継続していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活の中で、十分観察するようにしている。	○	できること、できそうなことを最大限に活かしながら、今後も継続して努めていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の希望を取り入れながら、カンファレンスを行い、作成している。	○	より利用者本位の介護計画となるよう、スタッフと共に、ご家族も交えて行っていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリング・カンファレンスを行い、状態の変化に応じて作成している。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を詳しく記入するように心がけており、計画見直し時に活用できるようにしている。	○	日中に比べ、夜間の介護記録の内容がうすいため、充実させたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームでの生活が困難になったり、本人・家族の希望で系列の施設への移動が可能である。	○	本人、ご家族の要望にできる限り応えられるように、努力していきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの訪問・実習の受け入れはできている。	○	今後も継続していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスを利用することはない。	○	必要に応じて、連携を図りたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要があれば、連絡を取り合っている。	○	必要に応じ、協働していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	系列のやまもと医院をかかりつけとしている方がほとんどだが、希望に応じて、他の病院との連携、受診の際の付き添いを行っている。	○	今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけの医師より、支援を受けている。	○	今後も継続していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームの各ユニットに看護師が配属されており、必要に応じて、やまもと医院より看護師に来てもらっている。	○	今後も継続していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院でのカンファレンスに参加し、退院後の受け入れ準備をしている。	○	今後も継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から「最期までグループホームで」と希望される方もおり、できるだけ希望に沿えるよう、やまもと医院と連携を取っている。	○	面談の段階で、終末期を住み慣れたこのホームでとの希望が多い。今後も継続して、話し合いで行っていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームとしてどこまで対応できるのかを、ご家族・スタッフと話し合いながら、見極めるようにしている。医師とも密に連絡を取るように心がけている。	○	本人を取り巻くご家族、医師、スタッフが同じ思いで、重度化や終末期に向けた支援ができるよう取り組んでいきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	詳しく情報提供書を書くようにしており、本人の状態や希望を分かってもらえるよう心がけている。	○	グループホームから別の居所へ移られる際は、十分に話し合いや情報の提供、交換を行い、本人にとって良い対応ができるように心がけている。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重した声かけを心がけている。また、書類の管理に気をつけている。	○ 今後も継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の希望を尊重し、実現できるような支援をしている。	○ 今後も一人ひとりに合わせて、自己決定や希望、思いが表せられるような場面作りに努めていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に本人の希望を聞き、それに沿えるようにしている。	○ 今後も、一人ひとりの希望に沿った支援をしていけるよう心がけていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に1回、美容師訪問があるが、家族と入居前から行っていた店に行かれる方もいる。また、家族に切ってもら方もいる。	○ その人らしいおしゃれや身だしなみができるよう、今後も支援していく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片づけを一緒にできる方が少ないが、食器の下膳を少しずつ手伝ってもらったりしている。	○ 買い物と一緒にいった時に好きなものを選んでいただくようにしており、今後もみんなが食事を楽しむことができるよう、個別に支援していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒・喫煙の希望は今はない。おやつ時の飲み物は希望を聞いたり、食べたいおやつを聞いて、手作り日に作ったりしている。	○ 買い物に行った時、食べたい物などを選んでもらったりして、今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のリズムをつかむよう十分に観察、誘導をしている。できるだけトイレで排泄してもらい、オムツの使用を控えるよう努めている。	○	今後も継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回ずつの曜日決定はしているが、その日の本人の状態によって変更しているし、希望するときに入浴してもらっている。(回数も一日おきの方などもいる。)	○	週2日ではなく、希望があれば、毎日でも入れるように検討していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れないときには温かい飲み物を出し、職員一緒に談笑したりして、安心して眠れるよう支援している。	○	本人、ご家族の希望、体調に合わせた安眠や休息の支援を継続していきたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや掃除の手伝いをお願いし、必ずねぎらいの声かけをするようにしている。レクリエーションは、本人の希望を取り入れている。	○	一人ひとりに合った支援を、今後も継続していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	常に所持している方はいないが、預かりのお小遣いで本人の希望する物を購入したりしている。(お小遣い帳作成)	○	希望があったり、できる・できそうな方に応じた支援をしていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に出たり、家族と外出されることもある。	○	今後も継続して行っていくと共に、外出の機会を増やせるように努力していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠足やドライブなどで希望を取り入れている。	○	行ってみたい所を伺い、可能なものから行っていくように努力していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	品物が届いたときなど、本人に電話をしてもらったり、はがきを書いてもらったりしている。	○	今後も継続していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問に制限はなく、時間も希望を取り入れている。訪問者への声かけも、温かく迎えている雰囲気を出すことを心がけている。	○	今後も気軽に訪問できるような環境作りをしていきたい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を実施し、会議録を作成している。	○	スタッフがミーティング(身体拘束廃止委員会)を行い、身体拘束について学ぶ機会があり、スタッフ全員で身体拘束をしないケアを目指して取り組んでいる。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関が開くとチャイムがなる装置をつけており、十分見守りを行うよう徹底している。	○	今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中・夜間を通して、定期的に居室訪問している。	○	今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミや針、洗剤など希望時には渡し、職員が見守りし、危険がないよう対応している。	○	一人ひとりの状態や能力に応じた管理を行い、安全に過ごせるよう配慮していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書を活用したり、会議で転倒など、いろいろな危険がある方の対応策を話し合っている。	○	今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成している。	○	日常で考えられる事故、急変に関しては、最低限の応急手当ができるよう、医師・看護師と共に勉強会をしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練は行っているが、地域住民の協力、働きかけは十分とはいえない。	○	今後も防災訓練を行っていきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	独歩による転倒の危険がある方は、ベッドから畳に変えたり、家族と相談しながら、拘束のない生活をしている。	○	今後も継続していきたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	何か異変があった時はすぐ看護師に連絡し、必要に応じて、やまもと医院から指示を受けている。	○	今後も継続していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬一覧を作成し、いつでも見れるようにしている。服薬内容に変更があった時は、看護師より説明を受け、連絡ノートに記入し周知している。	○	全スタッフが薬の効用や副作用について把握し、一人ひとりの状態に応じた服薬の支援と症状の変化の確認を行ってきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を十分に取ってもらったり、適度な運動を心がけている。必要に応じて、下剤服用、浣腸にて対応している。	○	今後も継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・夕食後、口腔ケアを行っている。介助が必要な方はホールにセットを置き、職員にて対応している。	○	今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量記録があり、変化に気をつけている。水分も食事時、おやつ時、入浴後など、こまめに勧めている。	○	今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成している。	○	今後も勉強会等、継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	使用前には用具を洗い、気をつけている。職員の手指消毒・用具やカウンターのアルコール消毒をこまめにしている。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植物を置いたり、プレートを出している。	○	今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ブラインドを使用し、家庭的な雰囲気と心地よい光が入るよう工夫している。	○	生活感や季節感を大切に、今後も工夫していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の窓際に椅子を置いたり、入居者同士、居室を訪問しあう方もいる。	○	今後も状況に合わせて、工夫していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた家具を持ち込まれている方もいる。	○	今後も利用者が心地良く生活できるような環境作りをしていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を随時しており、室温調節も気をつけている。	○	今後も継続していきたい。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内に段差はなく、手すりを設置している。	○	今後も利用者が生活しやすいように、安全な環境作りに取り組んでいきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	接し方に気をつけている。	○	今後も日々工夫していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の構造上、ベランダ等はない。	○	プランターにその時々季節のものを植えるようにしていき、季節感を出せるように努力していきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)